

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2017-748(P2017-748A)  
 【公開日】平成29年1月5日(2017.1.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-001  
 【出願番号】特願2016-111416(P2016-111416)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月26日(2018.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機であって、

遊技者の動作を検出可能な動作検出手段と、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが、動作有効期間内であれば、  
 遊技者にとって有利な有利状態に移行する可能性の報知を実行する報知実行手段と、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが、動作有効期間内の特定タイ  
 ミングであるときに、特定演出を実行する特定演出実行手段と、を備え、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが動作有効期間内であって、前  
記有利状態に移行する可能性が低いことが報知される場合において前記特定演出の実行を  
 制限する、

ことを特徴する遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 上記目的を達成するため本発明に係る遊技機は、

遊技を行う遊技機(例えば、パチンコ遊技機 1 など)であって、

遊技者の動作(例えば、遊技者の操作)を検出可能な動作検出手段(例えば、プッシュ  
 ボタン 3 1 B 及びプッシュセンサ 3 5 B など)と、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが、動作有効期間内であれば、  
 遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態など)に移行する可能性の報知  
 (例えば、予告 A の成功又は失敗の操作後演出など)を実行する報知実行手段(例えば、  
 ステップ S 5 3 0 で操作後演出を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など)と、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが、動作有効期間内の特定タイ  
 ミング(例えば、最良タイミングなど)であるときに、特定演出(例えば、S T 演出など)  
 )を実行する特定演出実行手段(例えば、ステップ S 5 3 0 で S T 演出を実行する演出制  
 御用 CPU 1 2 0 など)と、を備え、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが動作有効期間内であって、前記有利状態に移行する可能性が低いことが報知される場合において前記特定演出の実行を制限する（例えば、予告 A（失敗）を実行すると決定したときにステップ S 779 において演出制限フラグをオン状態とし、演出制限フラグがオン状態のときには、ステップ S 919 において S T 演出を実行しないようにする演出制御用 C P U 120 など）、

ことを特徴とする。

上記の構成によれば、遊技の興趣の低下を軽減することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

（1）上記目的を達成するため本発明に係る他の遊技機は、

遊技を行う遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1 など）であって、

遊技者の動作（例えば、遊技者の操作）を検出可能な動作検出手段（例えば、プッシュボタン 31B 及びプッシュセンサ 35B など）と、

前記動作検出手段によって遊技者の動作が検出される動作有効期間（例えば、操作有効期間など）が設けられた動作演出（例えば、予告 A の操作前演出など）を実行する動作演出実行手段（例えば、ステップ S 530 で操作前演出を実行する演出制御用 C P U 120 など）と、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが、前記動作有効期間内であれば、遊技者にとって有利な遊技状態（例えば、大当り遊技状態など）に移行する可能性の報知（例えば、予告 A の成功又は失敗の操作後演出など）を実行する報知実行手段（例えば、ステップ S 530 で操作後演出を実行する演出制御用 C P U 120 など）と、

前記動作検出手段による遊技者の動作の検出タイミングが、前記動作有効期間内の特定タイミング（例えば、最良タイミングなど）であるときに、特定演出（例えば、S T 演出など）を実行する特定演出実行手段（例えば、ステップ S 530 で S T 演出を実行する演出制御用 C P U 120 など）と、を備え、

前記特定演出実行手段は、前記報知実行手段が実行する前記報知が前記有利な遊技状態に移行する可能性が低いことを報知する特定の報知（例えば、失敗の操作後演出など）となる動作演出（例えば、予告 A（失敗））において前記特定演出の実行を制限する（例えば、予告 A（失敗）を実行すると決定したときにステップ S 779 において演出制限フラグをオン状態とし、演出制限フラグがオン状態のときには、ステップ S 919 において S T 演出を実行しないようにする演出制御用 C P U 120 など）、

ことを特徴とする。

上記の構成によれば、特定の報知となる動作演出において、遊技の興趣の低下を軽減することができる。